

渡島総合振興局管内広域連携前進プラン

推進期間：令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度）

令和3年（2021年）3月19日

北海道渡島総合振興局

函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町

木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町

1. 2040年の未来予測

〈市町村基礎データ〉

	2015年	2040年	(2040-2015)
管内市町人口	404,798人	265,496人	▲139,302人
公務人口 (市町職員数)	8,225人	6,469人	▲1,756人
公有財産建物 維持管理費	6.0万円/人	6.5万円/人	+0.5万円/人
形式収支 (歳入-歳出)	39億円	▲228億円	▲267億円

※出典：日本の将来推計人口(平成30年)推計(国立社会保障・人口問題研究所)
未来カルテ2040(地域ストックマネジメント研究(OPoSsum))

〈行政運営面で顕在化する諸課題〉

人材の育成

課題解決に向けた
認識の共有

空き家対策

地域公共交通の確保

地域医療体制の維持

等

2. 広域連携による対応の方向性

(1) 定住自立圏による連携

南北海道定住自立圏として既に広域的な連携を開始しているため、共通する必要な取組は、定住自立圏により対応

(2) 地域課題に関する意見交換の継続

地理的要因や地域特性等により、現状では、同一の課題に対して、各市町の考え方や優先順位に相違が見られるため、広域的に連携することで解決される課題の洗い出しを行い、効果的な取組を検討

3. 管内で推進する広域連携の取組

(1) 定住自立圏による連携

○人材の育成

・合同研修の実施による、市町職員の資質向上

○地域医療体制の維持

・ドクターヘリの運航や医療従事者の確保・養成に必要な支援を行い、道南全域の医療体制を充実

(2) 地域課題に関する意見交換の継続

・全市町と振興局が継続的に意見交換を行い、地域課題に関する認識を共有

・共通する地域課題について、広域的な連携が課題解決に効果的な分野と、具体的な取組を検討

4. 今後の検討課題

(1) 地域公共交通の確保

・住民生活に不可欠な地域公共交通の確保に向けた、地域の実情に見合う交通体系と具体的な取組の検討

(2) 空き家対策の検討

・景観の悪化や倒壊等の危険を招く空き家の適切な管理と有効活用に向けた、広域的な連携の可能性を検討

(3) 連携単位の検討

・地理的な状況や地域特性が異なる渡島管内において、広域連携による取組の効果が十分発揮されるよう、振興局の枠にとらわれない連携のあり方を検討